

基礎医学実習

科目到達目標: 1) 実験の手技を身につける。 2) 実験の組み立て方を身につける。 3) 各実習の意義を説明できる。
4) 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5) 各実習で得られたデータをもとに発表し、討論できる。
6) 実験動物への愛護精神を身につける。

科目責任者(所属教室): 松浦 達也(生化学)

連絡先: 0859-38-6153 (生化学)

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード			
1	5/19(火)	1		遠隔授業	説明会	基礎系 講座・分野 担当教員	統合生理学分野、 適応生理学分野、 生化学分野、 薬理学分野	教科書に記載されている事実あるいは講義等で教えられた知識は、多くの研究によって得られたものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施することで、講義で学んだ知識について理解を深め、問題点を解明する能力や論理的思考力を養うことを目標とする。また、得られたデータをもとに、学会方式の発表を行うことにより、プレゼンテーション能力の向上を目指す。				
2・3	実習内容: 日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数: 34～45時限				実習内容: 日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数: 34～45時限							
4・5												
6・7												
8・9												
10・11												
12・13												
14・15												
16・17												
18・19												
20・21												
22・23												
24・25												
26・27												
28・29												
30・31												
32・33												
34・35												
36・37												
38・39												
40・41												
42・43												
44・45	7/8(水)	3, 4	122	遠隔授業	発表会							
46・47	7/9(木)	3, 4	122									
48・49	7/10(金)	3, 4	122									

教育グランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1, 2

授業レベル: 3

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。授業・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。

実務経験との関連: 基礎医学研究に携わっている教員が、実験の進め方、手技、データの解釈などを指導する。

教科書: 各担当分野の講義で使用されている教科書・参考書やプリント等

その他: 実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。